



企業の社会貢献

会社が地域へ 踏み出した

オイレス工業株式会社(藤沢市)



■社をあげて「地域共生」を推進

オイレス工業株式会社は、自動車や建機、生産設備等、様々な分野で欠かせない「オイルレスベアリング」や、地震から建物を守る「免震・制震装置」を提供する総合メーカーです。

「地域共生」を掲げて各地の工場個別に地域貢献活動に取り組んでいましたが、組織一体として進めていくため、新たにCSR(企業の社会的責任)に特化した部署を立ち上げ、「地域共生」を主要なテーマとし、地域清掃や地域行事への参加等の取り組みを進めています。

■地域貢献活動を通して社員の「つながり」や「視野」を広げる

例えば、NPO法人海さくらが主催する江ノ島海岸清掃ボランティアへの参加です。この活動は、神奈川県「生涯現役マルチライフ推進プロジェクト」をきっかけに関わることとなり、今では社内イベントとして定着しています。

総務部の米山さんは「神奈川県とオイレス工業の

コラボがきっかけで発掘できた地域活動です。当初は数名だった参加人数が今では15名前後となりました。また、会社として一体感を出すためにTシャツを作成し、ボランティアに伴う費用(交通費等)をサポートして後押ししています」と話します。参加した社員からは、「熱心にゴミ拾いをしている皆さんの姿をみて刺激になった」「初めてボランティアに参加していい経験になった」など、前向きな声が多いそうです。

また、2019年3月に藤沢事業場を会場として提供した、湘南広域都市行政協議会(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)が主催する「湘南ものづくりワークショップ×町工場たいけんえんにち」では、来場者が約1600人と大盛況。社内からは、担当スタッフのほか有志の参加もあり、みんなで協力して「ものづくりの楽しさ」を参加した子どもたちに伝えました。

■地域と関わる機会を増やし、能動的な社員の育成へ

会社以外の活動に社員が参加する意義について「職場の人と社外で楽しい思いを共有することで、会社へのシンパシーも強くなるのではないのでしょうか。さらに、社外のコミュニティに参加することで、視野や人脈が広がり、人としての成長につながると思います。会社としても、そうした人材を育てることは意味があると思います」と米山さんは話します。

具体的な活動に積極的に取り組むオイレス工業。今後の取り組みについて米山さんに何うと「社員が地域と関わる機会をもっと増やしたいと思います。江ノ島海岸清掃に対する社員の反応がとても前向きなので、しっかり継続してさらに浸透させていきます。今は、既存の活動に参加する形ですが、社員が自発的にやりたいことをやるような動きにつなげたいと思っています。そうした活動は、必ず社員の成長につながると思うので、会社としてもバックアップしていきたいです」とのこと。

地域という様々なコミュニティが存在するフィールドとの関わりを通じて、「社員一人一人の成長」を後押しする仕組みがオイレス工業株式会社にはあります。

